

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	ももたろうの郷なかよし苑
日付	平成18年1月17日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年、介護支援専門員歴3年 病院での認知症高齢者の看護、介護業務歴17年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る (評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の勤務体制が落ちついており、入居者と職員の馴染みの人間関係を大切にしたり取り組みがなされていました。 ・職員はサービスの質の向上に向けて積極的に取り組み、前向きで柔軟な姿勢が見られました。 ・季節ごとに、車イスの入居者も含めて全員で行楽に出かける取り組みをされていました。 ・入居者の希望や判断を優先して、入居者の人格を尊重した支援をされています。 ・衛生面において、配慮されている点がありました。(手洗い場に自動手指乾燥機を設置、2台の洗濯機を用途別に使用、ホーム内の全体清掃を年2回業者委託など。)
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の申し送りや職員間の情報伝達について、全ての職員が確認できる仕組みを整備することが必要ではないでしょうか。 ・外周り空間を入居者がより活用できるように、芝生にも休憩用にイスやベンチなどを置かれてはいかがでしょうか。

運営理念

番号	項	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の「できること」や「したいこと」を大切に、入居者のペースで安心して生活できる環境づくりをめざしています。 ・職員が、入居者に対して先回りの支援をしすぎないように、個別のケアについて職員間で話し合っています。 ・グループホームを通して、入居者にとって、家族との良い関係が継続されることをめざしています。 ・職員と入居者の馴染みの人間関係を大切に、できるだけ職員の異動がないようにしています。 ・閉鎖的にならないグループホームをめざしています。 				

ケアサービス(つづき)

番号	項	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にしたりした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	身体機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者のこれまで生きてこられた人生を大切に、その思いを理解し、今もできることや持てる力を尊重した支援に取り組んでいます。 ・居室に入る時は、入居者の同意をもらっています。また、就寝中の見守りは、静かにそっとするようにしています。 ・個人情報の保護とプライバシーの保護の観点から、面会簿から住所記載の項目を削除しました。また、家族以外から入居者にかかる電話は、直接、入居者にはつながらないようにしています。 ・個人情報に関する記録や薬は、鍵のかかる棚に保管するようにしました。 				

生活空間づくり

番号	項	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周りや空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者のこれまでの人生や性格をよく理解し、人格全体を把握できるように努力しています。 ・入居者の感情を大切にするとともに、職員自身も落ち着いた態度で支援するように心がけています。 ・職員は入居者とのスキンシップを大切に考えており、入居者と接する際にやさしい言葉かけや握手、目線にあわせてかがむなど、細やかな配慮が見られました。 				

ケアサービス

番号	項	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

運営体制

番号	項	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの質の向上に向けて、他のグループホームの見学など、職員は自己研修に積極的に取り組んでいます。職員間での研修活動(報告会など)も実施しています。 ・問題発生の際には、早急に話し合いをしています。また、事故予防・報告書を作成して、原因を検討し、事故の再発防止に努めています。 				